

029
241
1

墨梅圖
卷一



029
241
1

紅
山
月
山

墨梅園集



龍水書



尊女知交
第 11472 號
書 圖

五五二



養
 有部河海



語曰名之必可
 言也言之必可
 行也

曇梅園



一日向雨の草 赤門の草の様に侍 袂
 惜あつて暇く 嗟古くくくく 久本角 少
 いらんる 何を多たれ 又の水や 年と終て
 只此のうみと方々 何んとい 何 何の何
 するも 何人 事 何 何 何 何 何 何
 とうしむの 一 何 何 何 何 何 何
 衆の爲す 求の一 某 何 何 語 何 何 何
 一 何 何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
 千とを 何 何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

唯の録し 了 終て 何ん 何ん 何ん

文 園 序

襟打て袴ゆき 亥夜

水甫

はくし 鯉もふしの佇意 水國
福吉の指し英比代と 青花



設左席



城山の壺戸りあて 浮きんか 沾洲
こ下跡て蹴跡とるう分牡丹水 山夕
あろころさ女 草場あり ちの州 和推

山よりては角の初牡丹ふ
 洞も去月の入のほくんとふ
 今瓜と車よりて牡丹成
 賢くもめれとよりれ名と草
 公と鶴ん合と牡丹の工ま物
 翻くも梅ありてはなふんか
 公の酒よりれ心や胡屋とん
 市得名の牡丹と花の物女前
 萱中より白魚も甚くや牡丹

泰室
 沾山
 成屋
 貞山
 来川
 乾什
 百洲
 壺月
 常山

設右坐

栖霞寺も減て勝殿牡丹殿
 名のう月の名負と流れ花牡丹
 雪月の肩一と有りて牡丹ふ
 春過く夏来くよりふ白牡丹

一漁
 超波
 永機
 湖十

夜の夢れ明し掃うて白牡丹
 貞佐

全

東筭

向くはてはひのちをくもく
 うゝ葉をてきくはくし
 ひくく名守り和吉の本地要
 高きうれ美梨と狭き名分宛
 筆やと川と日の出れ各對面
 ありの紫や菊ののせきと
 碧てと物水不のきも
 卯花や黒子ハこれと

桑 堆
 止 隅
 千 杵
 蓮 雨
 椿 井
 蘆 兆
 紫 滴
 可 圭

西筭

柳とくはくも名守り
 けくきり中隠し
 苔と吸や梅とあまの

長 水
 得 洲
 沾 緑

雅故宴

短歌や言ふととを八平と
 こも澄み水揚梅
 可ふ時宿の思地地と満
 朝瓜と多ぬ評判

貞 磨
 水 甫
 蓮 雨
 青 花

中六おと目と噴ふ鯛の若と於る
 蘭の源と 毎の何と
 草の花掌て情も気苦王子
 一 生ふね此やうな 渡
 飯名之の棧ふりて何と
 漁人草も後入筆葉紙 舌
 十三里つゝもふる氣を欠ど
 貞徳包 香刺し 出 と
 ありこけむつらの同惜めつゝも

橋井
 鷺竹
 可圭
 盧兆
 三花
 執筆
 鷺竹
 可圭
 水甫

橋とく影と 塵の 息
 飯の ちも 橋と赤ちり 物語
 派のちりふ 志難 煮 喰い
 派のちりふ 志難 煮 喰い
 橋 留る ちりふ ちりふ い山
 物如吹の 一ツ二ツハかかれぬ乃
 毛柴研が ちりふ ちりふ ちりふ
 海 ちりふ 留神 ちりふ ちりふ ちりふ
 世に ちりふ ちりふ ちりふ 飯 吹

貞麿
 鷺竹
 青花
 盧兆
 水甫
 貞麿
 可圭
 水甫
 貞麿

ありれ知新しやきこく事
 驚竹
 驚竹
 可圭
 水甫
 青花
 盧兆
 可圭
 青花
 盧兆
 可圭
 青花
 盧兆

任家ぬ世くかへぬり 水甫
 折神川も回一あいの木路お 貞壁
 宗祇のくづる朝や後 け 鶯竹
 年比く時とてはあうりりり 可圭
 青花

行騎皇律衆

擁慧

擁也水と一也一山若衆
必海勢之味也如月の衆子

風葉
蓮之

おろる名の水の一字也白あつた
名と水と銀斗能名對面
若弘の也水と浮の初指如
餘花ある也名と水と月の玄指
又と浮れ蒲團と二つ初ふはは
あましりい若花高たふし柳水
殿一甚へすい若う換あつた
誰と縁はゆくと指さうふつと

尺 起 如 晋 月 古 東 立 沾 水
下 井 里 些 瓜 光

江戶の春の初花の青條



倒履

草 水 一 牧 野 原 秋 車 員
 水 池 竹 々 若 々 空 々 々 々 安 撫 吉 桑 青 花
 々 々 風 々 々 々 保 々 々 々 々 々 々 々 々 水 堂
 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 隨 之
 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 梅 國
 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 文 豊
 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 鶺 千

鶴立

上下のありあけの中うき門くくく 晩雨

うらぬる葉荒も片 葎絲も 莎雞

神つるきくも負と命を 琴 全史

紫梅や多あ 燈ぬ 男茶屋 東間

甲丸のともも入子 葎の衣 五山

拱立

傾城く著くくくくくくくく 龜翁

見茅のやくくくくくくくく 正与

一 刷毛 他 藍隈も新樹も 岨竹

くくくくくくくくくくくく 岩翁

小御殿くくくくくくくく 解絲

一 天下物と恋まらる 起風

千草の只今出 沾古

字くくくくくくくく 立國

露くくくくくくくく 文國

影くくくくくくくく 水楚

ゆくくくくくくくく 素脚

めいそくも 煙ハ相流ル 秋の蓮 五山
 鷗のひりとのふさささ 三ノ元よ 莎雞
 親鳥へ 空けけけけ 大和路や 鷺竹
 うね世 ひとり 空の 山端 曉雨
 あふうもて 八十 孫の 白卵 青花
 袴ゆき せけう 草履ハ 水甫
 立膝子 頭のとて 後よさく 立國
 言はさ 石鼓 車眞
 大の ちんちん 莎雞

同くうり 先ふ 濟海寺 水國
 花夕下 戸の 乃 暁雨
 あふり 也 門 田すい 五山

餘宴

付くん ぶ 船の 鷺竹
 麦く 成の 白 水甫
 学技と 草 三原の 水國

重保



昔のよきもよき華魚磬の文は 沾湖

叶今以難魚の画底ありきとて

小糸の大層なり

早稲園

小南

